

文化の WA2.0 新規プログラム

「アジア文化芸術フェローシップ（美術）」の申請受付開始

～ 日本・ASEAN・東ティモールにおける美術分野の個人を対象とした双方向型フェローシップ～

国際交流基金（JF）は、日本と ASEAN、東ティモールにおいて、国の枠を超えた共同／共創事業を担い活躍する、美術分野の人材を幅広く育成することを目的として、双方向型のフェローシップを提供します。JF が取り組む「次世代共創パートナーシップ 文化の WA2.0－」（以下、「文化の WA2.0」という）の一環です。

本事業は、文化の WA2.0 が目標とする「日 ASEAN 間における将来にわたる強固な信頼関係の構築」、「多層的な人的ネットワークの強化」、「懸け橋となる次世代人材の育成」の実現を目指す、包括的な人的交流事業です。上述の地域を拠点に美術分野で活動する個人が、国外に一定期間滞在し、調査・研究・創作活動やネットワーク・プラットフォームの構築などを目的として行う活動が対象です。

本プログラムの実施を通して、日本と ASEAN および東ティモールにおける美術分野の豊かな交流のネットワーク、そして次世代を担う人材の育成に貢献します。

記

事業名称： アジア文化芸術フェローシップ（美術）

The Japan Foundation Fellowship for Arts and Culture in Asia (Visual Arts)

主催： 国際交流基金（JF）

令和 7 年度の募集に関して

■ 申請資格

日本、ASEAN10 か国または東ティモールに居住しており、日本、ASEAN10 か国または東ティモールの国籍・市民権・永住権を保持している、対象分野にて活動する個人（アーティスト、研究者、キュレーター、アドミニストレーター、コーディネーター、エデュケーター、コンサバター、アートハンドラー、プラクティショナーなどを含むが、これらに限らない）

■ 対象となる分野

美術に関連する分野（ここでの美術は古典・現代に限らないものとし、建築、デザイン、伝統工芸、文化遺産、文化財保護活用なども含むものとします）

■ 対象となる活動

- 1) 日本、ASEAN10 か国（インドネシア、カンボジア、シンガポール、タイ、フィリピン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）及び東ティモールにおける活動を対象とします。
- 2) 日本または ASEAN 諸国または東ティモールを拠点に、対象分野において活動する個人が、一定の期間拠点国外に滞在し、美術分野に関する調査・研究・創作活動やネットワーク・プラットフォームの構築などを目的として行う活動。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

■フェローシップの期間

短期（10 日～59 日）

長期（60 日～180 日）

■支給内容

国際航空運賃、滞在費、保険、調査補助費

■申請手続

令和 7 年度募集は 2025 年 3 月 17 日（月）から 5 月 31 日（土）13 時（日本時間）まで、JF 公募申請サイト（<https://www.apply.jpf.go.jp/>）にて申請を受け付けます。同年 10 月 1 日（水）から 2026 年 3 月 31 日（火）までに活動を開始する案件のみが対象です。

詳細は JF 公式ウェブサイトをご確認ください。

URL : https://www.jpf.go.jp/j/program/culture.html#cul_3

以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 広報部（広報担当：熊倉）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp